

TI_2505: 調整 ガス種類 - 水素を含む天然ガス



iCombi Pro / iCombi Classic ガス式ユニット



2025/05/06

テーマ

ガス式ユニット (iCombi Pro / iCombi Classic) を最大20%の水素混合で稼働できるように、ソフトウェアに調整が加えられました。

この新規事項は、ソフトウェア LM100 17.3.32、LM200 8.1.9以降に含まれています。

水素を混合する場合は、規定の排ガス分析の一環として排ガス中のO₂値（酸素含有量）を正確に測定し、規定の基準値に適合していることを確認することが不可欠です。この関連においてはCO₂値は許容基準とは見なされないため、正確で規格に準拠した排気ガス設定を確実に行うために、O₂値のみに基づいて設定および点検を行う必要があります。

必要なO₂は、サービスレベルの「タップ」->「ガス」->「ガスパラメータ」で確認でき、偏差がある場合はガス弁で設定します。

対象となる製品/アクセサリー

iCombi Pro / iCombi Classic ガス式ユニット

- 6-1/1
- 6-2/1
- 10-1/1
- 10-2/1
- 20-1/1
- 20-2/1

iCombi Pro 1) / iCombi Classic 2) ガスパラメータ

The image shows two screenshots of the iCombi Pro/iCombi Classic software interface. Screenshot 1 (left) shows the 'GAS TYPES' screen with a table of gas types and their status. Screenshot 2 (right) shows a detailed 'flue gas measurement' screen for 'G20' with various parameters and a checkmark icon.

Screenshot 1: GAS TYPES

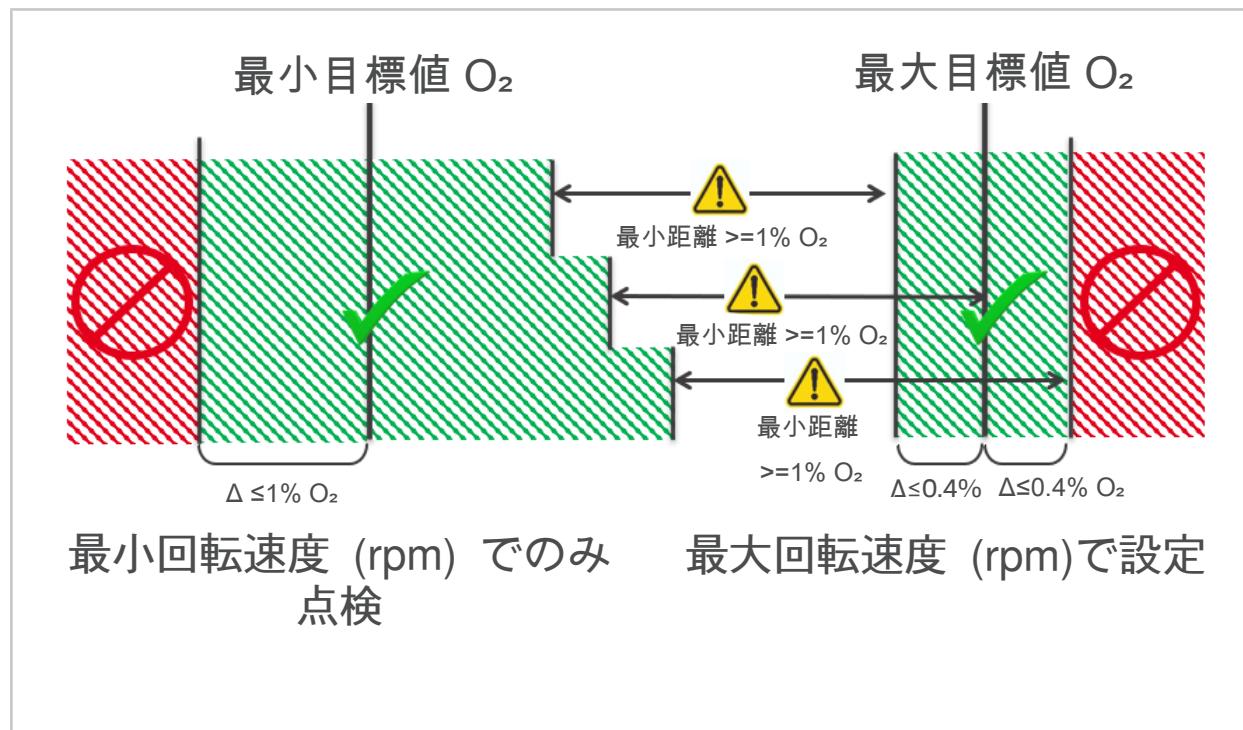
Name	Status
Gas type	G20

Screenshot 2: flue gas measurement G20

Parameter	Value
CO2	8.2%
O2	6.3%
screw	5.7mm
blower speed	2843rpm
flamecurrent	0µA
blower speed	0rpm

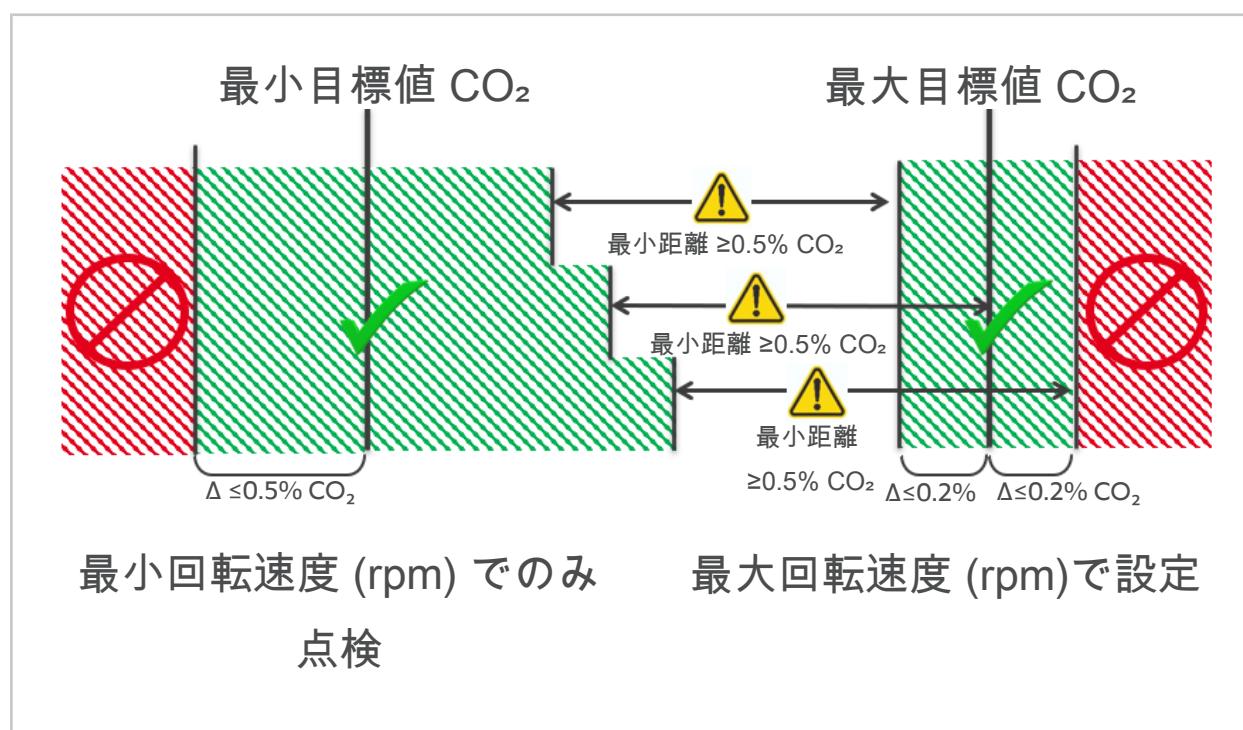
O₂の最大および最小目標値

水素混合物を含むガスの場合、このスライド表をO₂規定値とともに使用することが必須です。
その他のガス種類では、この表の使用はオプションとなります。



CO₂の最大および最小目標値

このスライド表をCO₂規定値とともに使用することは、水素混合物を含まないガスに対してのみ許可されます。



注記：

さらなる措置は必要ありません。